



学校だより

令和8年4月9日(木) No.1

むすびを広げる一年へ

— 開校第2期「むすぶ3年間」2年目の御挨拶 —

井手やまぶき支援学校は、開校5年目を迎えました。地域の皆さまに支えられながら歩んできた本校は、開校第2期「むすぶ3年間」の2年目に入ります。

昨年度は、校内12年間の学びの積み重ねを基盤に、地域と『むすぶ』学びを焦点化し、実践を進めた一年でした。夏に行った井手町内4校による合同研修会では、インクルーシブ教育の推進に向けて理念を共有し、述べ100を超える実践アイデアが生まれました。こうした地域との対話と協働をとおして、できることから一歩ずつ実践を重ねているところです。

子どもたちが互いの違いを認め合い、安心して共に過ごし、成長していく関係づくりを深めていくために、そうした学びや育ちの在り方を大切にしたいという考え方を、本校では「そばにいるのが当たり前」を理念として掲げました。今年度は、この理念を子どもたち、そして地域の方々とも共有していくため、「そばにいるのが当たり前(そばあた)」という言葉キーワードに、その取組を広げていきます。子どもたち一人一人が、多様な仲間と関わり合い、他者と学び合う中で、学習活動に参加しているという実感や達成感をもてる学びを大切に、「自分らしく共に生きる力」を育ててまいります。そして、こうした「そばあた」の実践を、インクルーシブ教育を推進するための中核に位置付けます。障害のある子どももない子どもも、多様な背景や特性をもつすべての子どもたちが、共に学び、共に生きることが当たり前となることをめざし、教育活動を積み重ねてまいります。

昨年度まで三菱みらい育成財団様の助成を受けて取り組んできた「心のエンジンを駆動させる」教育の研究としては一区切りを迎えますが、その成果と学びは今後も本校の教育の中核として大切に、さらに追究を続けてまいります。研究の推進にあたり、温かい御支援を賜りました三菱みらい育成財団様に、心より感謝申し上げます。今年度は、それらを日々の授業や学校生活に生かし、子どもたちの内なる力が発揮される学びを一層充実させてまいります。

また、本校では、開校以来、読書活動を教育の柱として大切にしてきました。すべての子どもたちが本にアクセスできるように、不読率ゼロをめざした読書バリアフリーの取組を進めます。今年度は伊藤忠記念財団様の助成も受けながら、その取組をさらに発展させ、多様な媒体や方法を活用し、本をとおして子どもたちが自ら学び、社会とつながる力を育ててまいります。



「この学校が、ここにあってよかった」
そう感じていただける学校をめざし、教職員一同、心をひとつに取り組んでまいります。
今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

令和8年4月9日
校長 江口 直美

今年度は、小学部18名、中学部14名、高等部23名の新入生そして小学部1名の転入生を迎え、小学部101名、中学部50名、高等部57名でスタートしました。昨年よりも児童生徒の数が増え、より賑やかになります。それぞれが自分を「みがき」、友達や地域の人と「むすび」、未来を「きりひらいて」いけるように支援してまいります。



校長 江口 直美
 副校長 宮本 朋子
 経営企画室長 倉崎 幸恵
 小学部総括主事 高橋 美貴
 中学部総括主事 荒木 誠弘
 高等部総括主事 村谷 吉宣



公益財団法人 伊藤忠記念財団

2026年子ども文庫助成事業助成決定！

児童生徒の本購入助成金として30万円の助成！
 図書ラウンジの図書の充実に活用させていただきます。

河川基金助成事業採択！

「カジカガエルを救え！」
 令和7年度中学部1年生の理科単元で取り組んだ学習の成果が実を結び、令和8年度理科教育充実のために20万円の助成！



安全面の観点から必ずネームストラップを着用の上、御来校ください。小学部黄色、中学部赤、高等部緑と学部ごとにストラップの色が違います。駐車場には限りがありますので、公共交通機関の利用について御協力をお願いします。



今年度も「学校だより」をとおして本校の取組を地域に広く発信していきます。また、学校HPでは、各学部の児童生徒達の取組をリアルタイムで発信します。ぜひ、右のQRコードを読み取っていただき、HPを御覧ください。



学校ホームページ
QRコード

本校の給食について Instagram にて配信しています。おいしい給食！楽しい給食！子どもたちのおいしい表情とともに調理方法の工夫や季節のメニューなどトピックスを随時お楽しみに！



給食 Instagram
QRコード



YAMAB0020230116